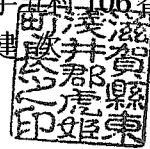


虎生第 417 号
平成20年10月20 日

国土交通省道路局長 様

滋賀県東浅井郡虎姫町大字五村106番地
虎姫町長 山内 健



今後の道路行政についての意見・提案について

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標題の件について、別紙のとおり回答いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

滋賀県 虎姫町

今般の道路行政は、平成 17 年 12 月の政府与党による「道路特定財源の見直しに関する基本方針」の取りまとめから、平成 18 年の「行政改革の推進に関する法律」公布を経て、本年 5 月 13 日には「道路特定財源等に関する基本方針」が閣議決定されました。これら一連の取り組みは、近年の公共投資全体の抑制などを背景とする国内事情から一定理解するものの、道路特定財源の歳出を上回る税収を一般財源とすることは残念でなりません。今後も「必要と判断される道路は着実に整備する。」と基本方針に謳われてはいるものの、今日まで地方道路整備については、要望、陳情によるところが大きく、緊急度による優先順位なり、予算的事情等により後回しとされた町内の幹線道路は、まだまだ未整備の状態であります。

新たな道路の中期計画の策定にあたっては、地域間格差の是正など地域の道路整備に対する幅広いニーズを汲み取っていただき道路整備と併せて、交通安全対策、維持管理を着実に推進していただくことを期待し、願うところであります。当町においては、最優先課題として国道 8 号線バイパス、県道東野・虎姫線バイパスの早期実現を要望するものであります。

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

滋賀県 虎姫町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
国際競争力の強化のための交通サービスの向上及び地域活力の向上	国道 8 号線バイパス北進計画の早期実現 一般国道 8 号は、新潟市を基点に京都市に至る路線で、北陸地方と京阪神圏とを結び、また、一般国道21号を介して中京圏とを結ぶわが国で最も重要な幹線道路のひとつです。 現道は、近年の自動車輸送の大型化や著しい交通量の増加及び沿道の開発等により輻輳する自動車交通を処理しきれず、その機能は著しく低下しております。こうしたことから、湖北地域、彦根市から西浅井町間では、既に長浜バイパスが整備され、また、米原バイパス、塩津バイパスも現在整備が進行中ではありますが、未整備区間の長浜市から木ノ本町間は幅員も狭く、物流と生活交通による慢性的な混雑が生じております。安全・安心のまちづくりを進めるために、また、経営・企業活動において、立地困難な地域が創意・工夫・知恵の競争に参加できる基盤の構築のためにも、国道 8 号バイパス北進計画が早期実現されることが、湖北地域住民の願望であります。	○期待する効果や評価等 湖北地域では、JR米原駅周辺地域において、平成17年度からJRにより整備されるJR貨物米原ターミナルと連携し、企業活動における国際競争力を強化する「滋賀県国際物流特区」の取り組みがスタートしました。アジア地域との国際物流拠点である敦賀港をはじめ日本海側各港湾と中京を結ぶ国道 8 号バイパスは、国際競争力の強化に一翼を担うものとなります。 さらに、沿道への民間投資を誘発し地域経済活動活発化の起爆剤となり沿道利用型の商業化が進展するなど、人、物の流通に重要な役割を果たし地域振興の基盤となります。 また、現道は部分的に集落内を通過し、騒音や振動と事故の危険性が大きく、バイパス整備は通過交通の排除により安心、安全な道、渋滞の緩和が図られます。	○その他 滋賀県が策定した「滋賀県における自主的な市町の合併推進に関する構想」を受けて長浜市と虎姫町、湖北町、高月町、木ノ本町、西浅井町、余呉町の合併にむけ取り組んでいるところで 国道8号バイパスの北進は、当該地域の一体化と新市のまちづくりにも、是非とも必要となります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

滋賀県 虎姫町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
	県道東野・虎姫線バイパスの早期実現 県道東野・虎姫線は、当町中心部を横断し東西を結ぶ主要幹線道路であります。町中心部は、市街地のため道路拡幅、歩道設置等の安全対策が講じられない状況となっております。また、JR北陸線ガード下は、通行車両の高さ制限により、大型観光バス等が通行できず、迂回路は町内南端に位置する姉川河川管理堤防及び北端に位置する県道三川・月ヶ瀬線となりますが、両道路共幅員が狭く大型車両の通行規格とは程遠いものであります。 こうしたことから、当該路線のバイパス化が都市計画道路として計画されているものの、事業着手に至っていない。	当該路線のバイパス化が実現しますと、大型車両の国道 8 号線から町内中心地へのアクセスが可能となり、五村別院、玉泉寺、虎御前山等の観光施設、或いは、町公共施設への利便性が格段に向上する。また、バイパスにより、大型車両の現道の通行量が減じられれば、買い物、通勤、通学などの日常生活を支える生活幹線道路としての機能が発揮され、安全、安心のまちづくりに大きく寄与する。	